

さくら小 とくの日だより

令和6年4月19日 No.1



心を育てる道徳の授業

お子様の入学・進級、おめでとうございます。今年度も、学校や家庭において「道徳教育」を通して考える時間が、子供たちにとってかけがえのない時間となり、心を育む手立てになればと願っています。今年度も毎月19日をとくの日と設定し、「とくの日だより」を発行していきます。学校で行っている道徳の授業の様子、子供たちの考えや感想、道徳週間の取組などを、このお便りを通してお伝えしたいと考えています。また、昨年度に続いて、道徳の公開授業、さくらファミリーデーを計画しています。ご協力の程よろしく申し上げます。



4つの心

道徳科の内容は4つの心があり、それぞれの心で細かく項目が分かれています。道徳の授業では、物語の出来事を自分に置き換えて考えたり、友達と意見を交換したりしながら、よりよく生きる心を育てていきます。

今年度もさくら小学校では、**自分自身の心【節度、節制】**、**人との関わり【親切、思いやり】**の2つを特に大切な項目として位置付けました。健康や安全に気を付けて生活をしたり、人に寄り添い、相手のことを考えて行動したりするにはどうすればいいのか、子供たちと一緒に教員も考えていきたいと思っています。

生命や自然

自分自身

こころ



集団や社会との関わり

人との関わり



埼玉県ゆかりの偉人 渋沢栄一

7月3日より近代日本産業の父と呼ばれる実業家、渋沢栄一をデザインした新一万円札が発行されます。渋沢栄一は企業の設立に多く関わり、その中で企業の目的が利潤の追求にあるとしても道徳が必要と説いていたそうです。埼玉県では家庭用「彩の国の道徳」に渋沢栄一についてのお話を掲載しています。ぜひ、お読みください。



ここから読めます。
「家庭用 彩の国の道徳」



幸手市の郷土資料
「どうとくのみち幸手」も、
ぜひ読んでみてください。